

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

医療政策課長 坂本偉健

電話番号

0852-22-6276

事務事業の名称	地域医療の連携推進	
目的	(1) 対象	医療機関
	(2) 意図	県民が、どの圏域においても一定程度の医療を適切に受けられるよう、医療機関等の機能を充実させるとともに、医療連携体制の構築を進める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各医療機関における医療機能の確保・充実を図るため、医療機関等に補助金を交付し、地域に必要な医療機能の強化を図る。 各地域における医療機関の連携を進めるため、医療機関等に対して研修会、連絡会、講演会などを行う。 医療機関や介護施設等の連携を促進するため、しまね医療情報ネットワークシステム「愛称『まめネット』」の整備運営を行う。 複数の医療機関が相互に連携して医療・介護サービスを提供しようとするモデル的な取組に必要な経費を支援する。 在宅医療に関する県民の理解を深めるため、各種媒体等を通じてわかりやすく広報を行う。 医療機関等が在宅医療を地域で主体的に推進していくために、必要な経費を支援する。 県民に適切な医療を提供するため、医療審議会の運営や医療安全相談などを行う。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	救急病院数	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	病院	
	式・定義	救急告示病院数（県認定）	取組目標値						
		実績値	25.0	25.0					
			達成率	100.0	100.0	-	-	%	
2	指標名	訪問看護師数	目標値	300.0	320.0	340.0	360.0	380.0	人
	式・定義	訪問看護ステーションに従事する訪問看護師数（常勤換算）	取組目標値						
		実績値	311.0	317.1					
			達成率	103.7	99.1	-	-	%	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	708,178	1,630,453
うち一般財源 (千円)	176,459	172,435

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 救急病院数については医師確保の状況は引き続き厳しいが、スタッフの頑張りにより現状を維持している。
- 訪問看護師数については目標値を下回ったが着実に増加している。
- まめネットの同意カード発行数は36,908枚（対前年比11,722枚増）と順調に伸びているが、参加施設数は在宅支援サービスのパイロット運用の終了などにより対前年比で7施設減の775機関となった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

「地域医療再生基金」や「地域医療介護総合確保基金」などを財源として事業を進めた結果、まめネットの県民や医療機関への普及が進んだ外、訪問看護師の増により体制が充実された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 今後、地域医療構想に具体的に対応していくこととなるが、このためには、従事者の確保、医療機関の役割分担、介護や在宅医療の受け皿整備などが必要。
- 中山間地域では、在宅医療の推進が難しい。

②困っている状況が発生している「原因」

- 医療資源が乏しく人材が不足している地域がある。
- 中山間地域では、集落が点在しているために訪問系のサービスが不採算・非効率である。
- 医療・介護連携でまめネットの活用が進んでない。

③原因を解消するための「課題」

- これまで、主な財源としていた「地域医療再生基金」がH27で終了。「地域医療介護総合確保基金」の配分におけるソフト事業の配分額の不足
- 医療機能の役割分担に伴う施設整備の円滑な促進
- 医療人材の確保と「まめネット」を活用した医療介護連携の充実
- 中山間地域において在宅医療を推進するための地域の実情に応じた支援

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 「地域医療介護総合確保基金」などの必要な財源が確保できるよう、重点要望などの場を活用し国へ働きかけていく。
- 地域医療構想を踏まえ、医療機関の役割分担や連携についての議論を進め、これに資する施設・設備整備に対し支援を行う。
- 医療人材を確保し、「まめネット」を活用した医療介護連携を充実させる。
- 中山間地域において、在宅医療を実施するため、診療所・訪問看護ステーションへの支援を充実させていくほか、地域の実情に応じた支援策を検討する。